事例No.	2875
公表年度	R5
団体の属性	中核市
団体名	高知県高知市

事例区分	行政改革

タグ	・人材確保・育成 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

事例３ 高知県高知市ー地域おこし学校「こうちみませ楽舎」 その１、その2

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第3回）

事例３　高知県高知市ー地域おこし学校「こうちみませ楽舎」　その１

団体名	地域おこし学校「こうちみませ楽舎」		運営形態	市の直営
活動範囲	所在市区町村一部地域			
中核を担う職員等	任用形態	常勤	出身地	―
	年齢	―		

【取組み概況】

○　地域おこし学校こうちみませ楽舎は、まちづくりを**皆で楽しみながら学び**、そこから生まれた**アイデアを形にする学びと実践の学校**として、令和2年度にプレ開校し、3年度から本格開校。教室を6つのキーワード（※）のテーマを基とした取組について、フィールドワークとその学びを生かした成果品の作成といった実践の2本立ての仕組みとなっている。

○　令和４年度からは、プレミアムクラスとして**受講生の“やりたい”を具体化**し、企画したプランを実現するためのサポート講座を開講し、地域力創造アドバイザー制度を活用して、吉弘構成員に講師をお願いしている。

○　活動成果として、**地域内外から受講生が集まり**、この地域に新たに関わる人が増えた。また、楽舎の取組をハブとして、**地域や大学等の教育機関と連携**し、**関係人口の拡大**に繋げることができた。実践部分での成果品（ご当地バーガーレシピ、ご当地かるた等）を作ることで、それらを活用した地域の魅力をPRすることができた。

○　今後の展望として、人材発掘、人材の育成に取り組んできており、令和５年度に、プレミアムクラスの**修了生で発足したみませ楽舎の「楽友会」**において、自分たちで企画した地域課題解決、地域活性化のためのプランの実現に向けて活動中。将来的には旧御畳瀬小学校を拠点にして活動しながら、**コミュニティービジネス・地域商社へと発展**していくことも視野に入れてもらうことを想定している。

※６つのキーワード

「賑：地域資源を活用したイベントの開催で賑わいを創出」、「食：食地元食材の活用により、地域産業の掘り起こし」、「巡：周遊できる仕組みをつくり、魅力を再発見、来訪者を増加させよう」、「場：住民も観光客も集い、賑わいと交流が生まれる場所づくり」、「育：地域の伝統文化や祭りを次世代に受け継ぎ、郷土愛を醸成する」、「伝：地域内外の教育機関等と連携して、若い層の地域ファンを育成しよう」

事例３　高知県高知市ー地域おこし学校「こうちみませ楽舎」　その２

【設立の経緯】

○　令和２年３月に策定した高知市長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画における6方策15事業の一つに**「旧御畳瀬小学校の利活用」**があることから、地域活性の拠点として活用することを検討。

○　旧小学校を拠点に、それぞれの事業を実践していくことと合わせて持続的な取組としていくためには、行政だけでなく地域内外の地域おこしに関心のある方がプレイヤーとなって自主的に取り組んでいただく必要があり、そのためには人材の掘り起こし・人材育成が重要であることから、**旧校舎を活用し「学ぶ」「実践」をキーワード**にした地域おこし学校「こうちみませ楽舎」に取り組むこととした。

【行政との関わり】

○　市としては、令和５年度から楽友会への取組に対して**伴走支援と財政支援として補助金**を準備している。

○　今回は、長浜・御畳瀬・浦戸地域でみませ楽舎の取組をしているが、土佐山、鏡という地域が山間部であり、人口も減ってきている状況。もし鏡や土佐山でも、地域おこしや人材の育成といった流れになるようであれば、そこに広げていくことも必要と考える。

○　地域の課題解決に取り組むという点では、地域の方がそれを課題として認識して、自分たちでこうしていきたいと考えていただく必要があるが、そのためには、市としてもコミュニケーションをとりながら、何が課題かというのを共通認識として持ち、次にそれをどうしていくかを一緒に考えていく、地域にしっかり入っていくということが重要。

○　楽友会にも**市の職員が受講生や会員といった形で参加**をしているため、事業・仕事として取り組む以外の部分で市の職員をどう引き込んでいくか、職員が積極的に地域に加わる機会をつくっていくことが重要。

【中核を担う者（楽友会）の状況】

○　令和５年度に、プレミアムクラスの**修了生で発足したみませ楽舎の「楽友会」**において、**自分たちで企画した地域課題解決、地域活性化のためのプランの実現に向けて活動中。**

○　楽友会の事業展開として、旧御畳瀬小学校を拠点として活動し、**楽友会と高知市の地域おこし協力隊が協力・連携**しながら取り組んでいる。3地域の活性化につながるアイデアの実践として定期的にミーティングを月２回開催している。

○　市としては、将来的には、地域おこし協力隊と連携し、今までやってきたみませ楽舎の企画支援や、**自分たちで運営資金の調達**をしていただいきたい。また、小学校は現在、市で施設管理をしているが、将来的には**施設管理を請け負うこともできる**ような団体になっていただきたい。